

六甲山自然案内人の会 23年12月度定例自然観察会報告書

『圧巻！ 大龍寺周辺の紅葉 見に行こう』

実施日 平成23年12月9日(土)

コース 諏訪山児童公園～金星台～大師道山腹道～猩々池～大龍寺下～市ヶ原
～布引貯水池～布引の滝～新神戸駅

参加人数 会員25名 ビジター53名 計78名

【観察テーマ】

- ・ 大師道・大龍寺周辺・布引の見事な紅葉を堪能する。
- ・ 「金星観測」「大師道」「猩々池」「大龍寺」「善助茶屋跡」「布引貯水池」「布引の滝」などで歴史の話を聞いてもらう。

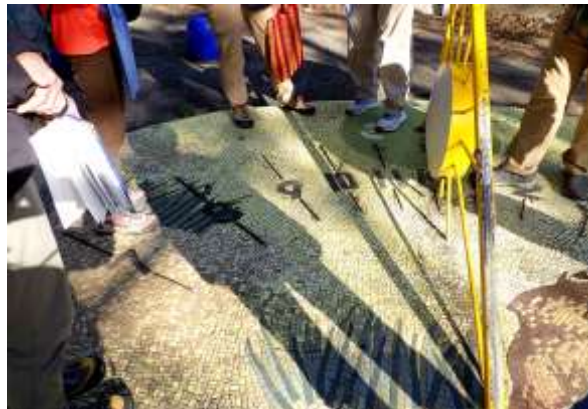


◆諏訪山児童公園～子供の園

- ・ トウネズミモチ、トベラの実を見ることができた。

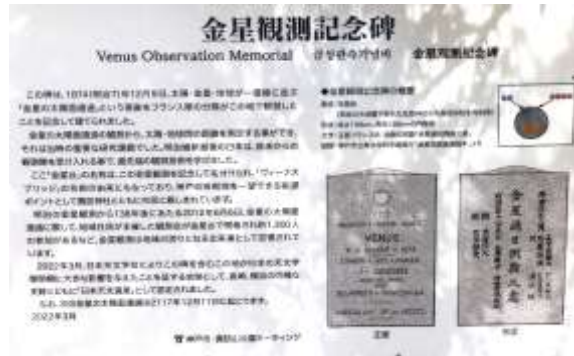
◆子供の園 日時計

- ・ 日時計の原理を竹内さんが解説。



◆金星台

- ・明治7年にフランスの天文学者によって金星観測が行われた場所。
何を目的に金星観測が行われたのかを竹内さんが解説。



この碑は、1874(明治7)年12月9日、太陽・金星・地球が一直線に並ぶ「金星の太陽面通過」という現象をフランス隊の分隊がこの地で観測したことを記念して建てられました。

金星の太陽面通過の観測から、太陽-地球間の距離を測定する事ができ、それは当時の重要な研究課題でした。明治維新直後の日本は、欧米からの観測隊を受け入れる事で、最先端の観測技術を学びました。

ここ「金星台」の名称は、この金星観測を記念して名付けられ、「ヴィーナスブリッジ」の名前の由来にもなっており、神戸の市街地を一望できる眺望ポイントとして諏訪神社とともに市民に親しまれています。

明治の金星観測から138年後にあたる2012年6月6日、金星の太陽面通過に際して、地域住民が主催した観測会が金星台で開催され約1,300人の参加があるなど、金星観測は地域の誇りとなる出来事として記憶されています。

2022年3月、日本天文学会によりこの碑を含むこの地が日本の天文学黎明期に大きな影響を与えたことを証する史跡として、長崎、横浜の同様な史跡とともに「日本天文遺産」として認定されました。

なお、次の金星の太陽面通過は2117年12月11日に起こります。
2022年3月



・明治時代ここ諏訪山が神戸一の行楽地であったという歴史を安岡さん解説。



諏訪山一帯は、かつては、諏訪神社を中心として温泉や動物園などがあり、多くの著名人が訪れるなど、神戸市民の行楽地となっていました。明治7(1874)年には金星台でフランス観測隊が金星観測を行いました。明治24(1891)年にはロシアのニコライ二世が大津事件の前日に来訪していたという記録もあります。現在グラウンドのある場所は明治40(1907)年に池が埋め立て整備され、明治天皇御小休処が建てられましたが昭和20(1945)年に空襲で消失しました。また、武徳殿があり、神戸の武道の拠点となった時代もありました。神戸で初めてボーイスカウト活動が行われたのも諏訪山公園でした。現在では、温泉や動物園はありませんが、金星台を中心に、グラウンドや広場、遊具が整備され、市民の憩いの場となっています。また、遊歩道をのぼっていったピーナスブリッジからの眺望はすばらしく、観光客にも人気のスポットとなっています。

◆大師道山腹道

・山腹の道に入ると早速イロハモミジの見事な紅葉が出迎えてくれる。
上流に登っていくにしたがい色づきの時期が遅くなり、例年12月10日前後が見ごろであるが、今年は夏の猛暑が原因か鮮やかな紅葉を見せることなく散り始めていたのが残念であった。

イロハモミジ(多) テイカカズラ ムクノキ(大) ヤマモモ クスノキ(大)
ニセアカシア シラカシ(多) モチノキ(大) ニセアカシア(大) ヤブニッケイ
ヒサカキ エノキ ハゼノキ ネムノキ ケヤキ マテバシイ(大) クヌギ
アラカシ(大) クズ トウジュロ ヤマモモ ガmazミ ヤマガキ(多) テイカ

カズラ ナワシログミ ムクノキ アカマツ ヤブニッケイ ビワ(多)(大)
トベラ カゴノキ モチツツジ(多) アオキ(多) カラスザンショウ
アカメガシワ オオモミジ マメヅタ イヌビワ アジサイ カクレミノ(幼)
ヤブムラサキ(多) ヤマザクラ(大) クサギ イヌマキ(大) ヤブタバコ
マルバハギ ツガ スギ(大) アジサイ イヌビワ(大) サンシュユ(大)
ヒノキ(多) クヌギ(多)(大) ケヤキ(多) ナラガシワ ムラサキシキブ(大)
クマノミズキ(幼) アカメガシワ(多)(大) ムクノキ(大) ナワシログミ
ネムノキ



◆猩々池

・この池がいつごろ何を目的につくられ、なぜ猩々池と名付けられたかなどの歴史を中島和樹さんが解説。謡曲『猩々』を披露。

ヒルムシロ ポントクタデ ムクノキ イロハモミジ(多) モミノキ(大)
ヒノキ(大) サザンカ ヤブツバキ(多) マテバシイ アオキ イチョウ(大)
ギンモクセイ シイノキ アラカシ(多)(大) スギ(大) イチョウ(大)
イチョウ(大) ヤブニッケイ(大)



定例観察会当日は
ほとんど水がなく、
干上がっていた。

◆大龍寺下



※大龍寺創建に関する逸話は別紙参照

◆善助茶屋跡

《昼食》



※善助茶屋に関する逸話は別紙参照



※毎日登山に関する逸話は別紙参照

マザーツリーNo.3のスタジア



マザーツリーNo.13のスタジア



◆大龍寺山門

・山門東に続く舗装路での紅葉も素晴らしい。

エノキ(大) イロハモミジ(多) コメナモミ サンカクヅル フサフジウツギ
クサギ(幼)(多) ヒノキ(大) スギ(大) トラノウジソ アオキ(多) ムクノキ
ヤブツバキ(多) コアカソ(多) アラカシ メハジキ(多) カラスザンショウ
アカメガシワ(多) イヌビワ(多) イヌガヤ(多) ムラサキシキブ エノキ
ムクノキ クサギ(多) カゴノキ(幼) イタドリ オオオナモミ クヌギ
カラスザンショウ シラカシ(多) クスノキ ヌルデ ノブドウ アカメガシワ
ネムノキ(多) アラカシ(多) クマノミズキ



◆市ヶ原

ホタルカズラ アラカシ(多) イロハモミジ(多) シラカシ(大) エノキ(大)

セイタカアワダチソウ カラスザンショウ(大) アリタソウ オオオナモミ

エノキ(大) サザンカ ウツギ(多) スルデ イヌガヤ ネズミモチ
 ヨウシュヤマゴボウ ミツバベンケイソウ ヤブツバキ(多) シナアブラギリ
 コアカソ アオキ(多) スギ(多) ミズヒキ



◆分水堰堤

コイケマ クマノミズキ アケビ イロハモミジ(多) ネムノキ ボタンヅル
 ウツギ イヌザクラ カナメモチ テイカカズラ アラカシ ネズミモチ
 ムベ ガマズミ(大) スギ林 クスノキ(多)(大) カラスザンショウ(多)



国指定重要文化財

分水堰堤・分水堰堤附属橋

分水堰堤とその附属施設の役割は、布引ダムに流れる水量を調整したり、土砂がダムに流れ込むのを防ぐことです。分水堰堤で水を堰き止め、橋台から流入した水を、分水堰堤隧道を通して布引ダムに送っています。にこった水や必要以上の水は、橋台の弁が閉まり、分水堰堤を越えて放水路に流れ、ダムには流入しないようになっています。

分水堰堤は、切石をアーチ形に積み上げ、水圧に耐えるように設計されています。橋台に架かる附属橋は、鉄筋コンクリート製のアーチ橋で、床の鉄筋を格子状に組む、モニ工式と呼ばれる先駆的な技術で作られています。

神戸市中央区政府
神戸市教育委員会

シマカンギク花





◆布引貯水池

・貯水池周辺の紅葉も今年は遅くまで目を楽しませてくれている。

イロハモミジ(多) クスノキ(大) ネズミモチ(多) アオキ ヤブニッケイ
カラムシ



今年もオシドリの群れがやって来た



1900年4月、神戸水道は日本で7番目の近代水道として給水を開始しました。
 布引貯水池五本松堰堤は、創設時に建設されましたが、日本最古の重力式コンクリートダムとして、
 世紀を越えて、現在も変わらず神戸市民の生活を支え続けています。
 2006年に「布引水源地水道施設」の一部として国の重要文化財に指定されました。



布引貯水池五本松堰堤建設時の様子



完成直後の布引貯水池五本松堰堤

【神戸水道に尽力した偉人達】 W.K.バルトン(1856~1899年)

1887年イギリスから来日し、内務省衛生局雇技師兼工科大学講師となった。
 バルトンの1893年の設計により、1900年に神戸市に近代水道が布設された。
 その後、名古屋市・広島市等の日本各地の上下水道布設に尽力するとともに、
 佐野藤次郎始め、多くの日本人技術者に影響を与えた。



◆五本松堰堤

ノガリヤス ノグルミ ニセアカシア トキリマメ アキカラマツ
 ツリガネニンジン コマツナギ エノキ マキエハギ ネコハギ ヌルデ
 センニンソウ ススキ



マキエハギ



トキリマメ



キイロスズメバチ巣痕



◆かくれ滝 ※布引貯水池、五本松堰堤、かくれ滝に関する逸話は別紙参照
 シナサワグルミ カゴノキ トウネズミモチ イロハモミジ(多) クスノキ(大)
 ヤブマオ カラムシ マユミ イボタノキ コウヤボオキ ウラジロウツギ
 ノブドウ



かくれ滝

ノグルミの実



テイカカズラ ツメレンゲ ナワシログミ イヌビワ ニセアカシア
 ムクノキ(大) コウヤボウキ イヌビワ アラカシ アベマキ キハギ アセビ
 ヒトツバ ノキシノブ イロハモミジ ムラサキニガナ チヂミザサ



テイカカズラの実

ツメレンゲ花がら



ビワ花



◆雄滝

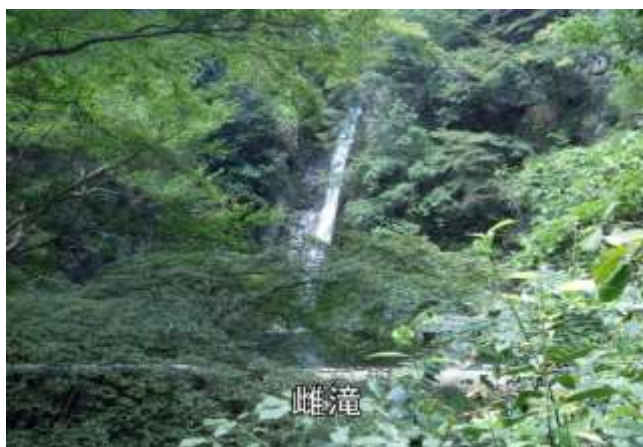


※雄滝に関する逸話は別紙参照

ウラジロウツギ イヌビワ テイカカズラ ノハカタカラクサ マツバラシ
イワヒバ ツメレンゲ マメツタ ウラジロウツギ ニワウルシ クサギ

◆雌滝

イロハモミジ テイカカズラ サンゴジュ アラカシ(大)(多) イワタバコ
上水道施設 取水口



ソクズ



ソクズ 密腺



アラカシ(多) ソクズ ビワ トウネズミモチ ノブドウ クサギ
イヌホオズキ テイカカズラ

◆新神戸駅